

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Plus+days鳳校			
○保護者評価実施期間	2025 年 5月 2日 ～ 2025 年 5月 24日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2025 年 5月 2日 ～ 2025 年 5月 24日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 6月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちそれぞれに合わせた環境や支援の工夫を行っていること。	利用の子どものおやすみや活動内容に合わせて部屋の間取りや職員配置の工夫等に努めている。 静養室等も使いつつ、子どものその時々のおやすみをみて、必要な対応を柔軟に行っている。	平日に関しては利用児童の数が少なく、集団活動の訓練を行いたくても十分な状況を作れないことがある。職員が子ども役を行い設定をする等、工夫をしながら、子どもの実態に合った支援となるように工夫していきたい。 また、同じようなニーズに児童を受け入れられる体制づくりを行いたい。
2	職員間の連携のために様々な仕組みを取り入れて実行していること。	朝礼、昼礼、終礼を毎日実施しその日の利用児童についてを中心に情報共有が行えている。 参加できない職員もいるが、情報が漏れなく伝わるようにノートを活用して共有している。	平日は振り返りが十分に行えていない。個々の職員が対話し情報交換していることが多く、全体周知に至らないことがあったり、共有ノートの活用について職員間で意識の差があったりするため、全体に意識を高められるように定期的に注意喚起を行う。 全体を通して簡潔で適切な内容の記録が取れるように努める。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会が限られていること。	地域のイベントや他事業所との合同イベントを行い交流の機会を設けたが、サービス提供時間の関係等もあり土曜日の実施となっている。平日のみ利用している児童にはなかなか地域交流の機会を設けられていない。	地域のイベントを実施する際には、通常は平日のみの利用児童でも参加できるようにお声掛けを行ったり、多くが参加できる仕組みを考えたりする。
2	保護者とのコミュニケーションにおいて、人によりむらがあること。	保護者の就労状況や保育園等での送り迎えにより、場合によってはなかなか保護者の形と顔を合わせる機会が作れない場合がある。	積極的にコミュニケーションをとる機会をつくれるようお声掛けを行うなどに努める。
3			